記　者　発　表

平成２６年３月１０日
国　土　交　通　省
東 北 技 術 事 務 所

「応急組立橋 架設講習会」を開催します。

東北技術事務所では、東日本大震災の経験から新たに導入した応急組立橋の架設講習会を開催します。

応急組立橋は、地震および洪水等により被災した道路や橋梁に代わり、現地で短時間に組立出来る仮設橋のことで、緊急車両や災害対策車の輸送路を確保する重要な役割を持っています。※別紙－１参照

この架設講習会は、応急組立橋の災害出動に備え、災害応急対策業務の協定団体（参加企業２２社）及び整備局職員を中心に関係機関等を対象に応急組立橋の架設手順の習得、習熟を図る目的で実施します。

講習会に使用する応急組立橋は、東日本大震災の経験を踏まえ、緊急車両を早急に通行させるべく、架設時間の短縮を目標として、平成24年度に新たに導入したもので、今回が初めての架設講習会となります。※別紙－２参照

１．日　時：平成２６年３月１４日（金）　９：３０～１１：３０
（９：２０集合）

２．場　所：東北技術事務所構内及び防災技術センター　※別紙－３参照

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北技術事務所
住　所：多賀城市桜木三丁目６－１
ＴＥＬ：０２２－３６５－８１５８（代表）
総括技術情報管理官　向 井　秀 一
事業対策官　井 上　秀 秋

別紙－１

災害での応急組立橋使用例

１．東日本大震災
岩手県陸前高田市　一般国道45号　川原橋

架設中



完　成



２．宮城岩手内陸地震
岩手県一関市　一般国道３４２号　市野々原地区

架設中

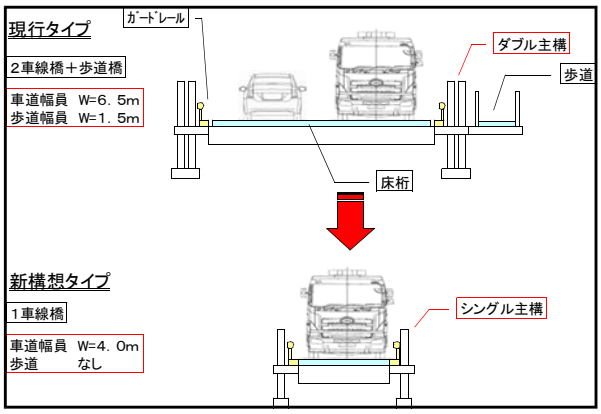


完　成

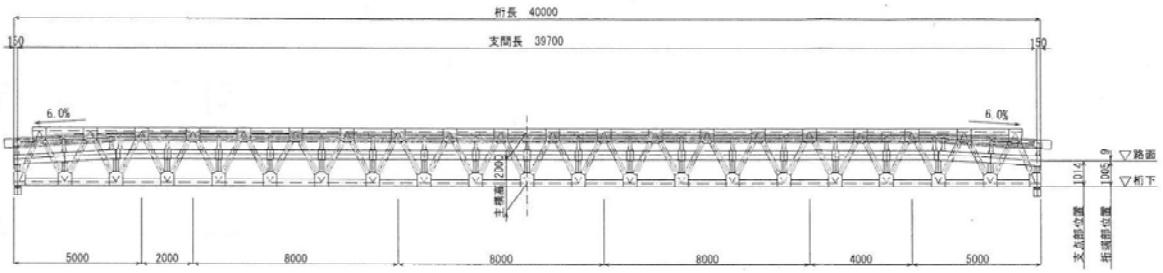


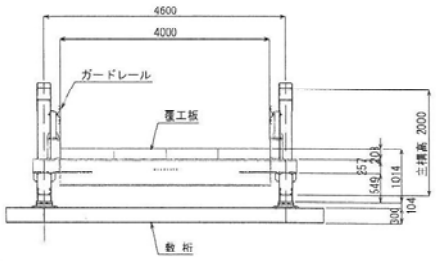
別紙－２

新たに導入した応急組立組立橋の概要









形　　式	単純下路式組立ワーレントラス橋
桁　　長	４０．０ｍ １０ｍから２ｍごとに４０ｍ 取付桁（１４ｍ×２）
車道幅員	４．０ｍ（車道）
主構高さ	２．０ｍ
設計荷重	Ｂ活荷重

・幅を１車線確保（４ｍ）とし、主要部材を軽量化して、架設時間の短縮を計りました。
・全部材を一般に多くある１１ｔ平積みトラックに載るように設計しました。
・主たる構造部分に使われる組立ボルトは全て同一としました。
・覆工板も大型化（２ｍ×２ｍ）し、架設時間の短縮を計りました。

応急組立橋架設講習会プログラム

平成２６年３月１４日（金）　９：２０構内集合　※別紙－３参照

①　９：３０～１０：００　応急組立橋構内架設状況見学（主構一括架設）

②１０：００～１０：３０　応急組立橋の概要と組立要領講習
（防災センター内にて）

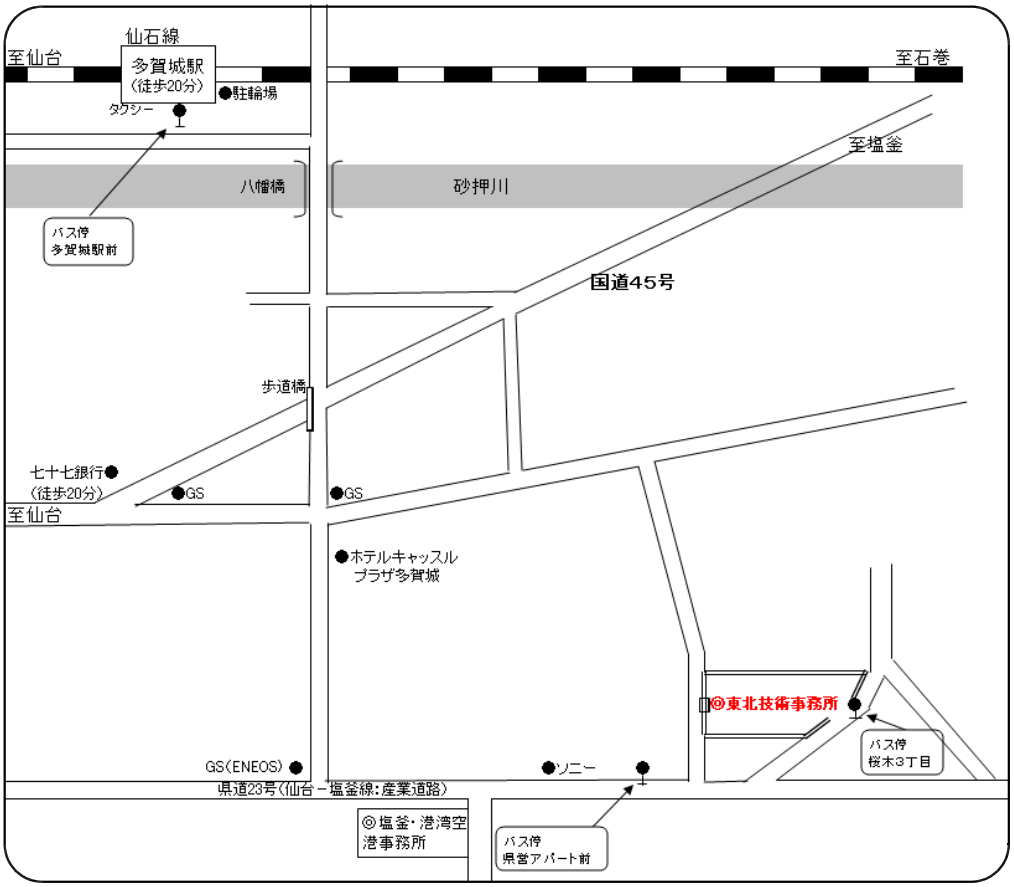
③１０：３０～１１：３０　応急組立橋構内架設状況見学（主構ピン接合）

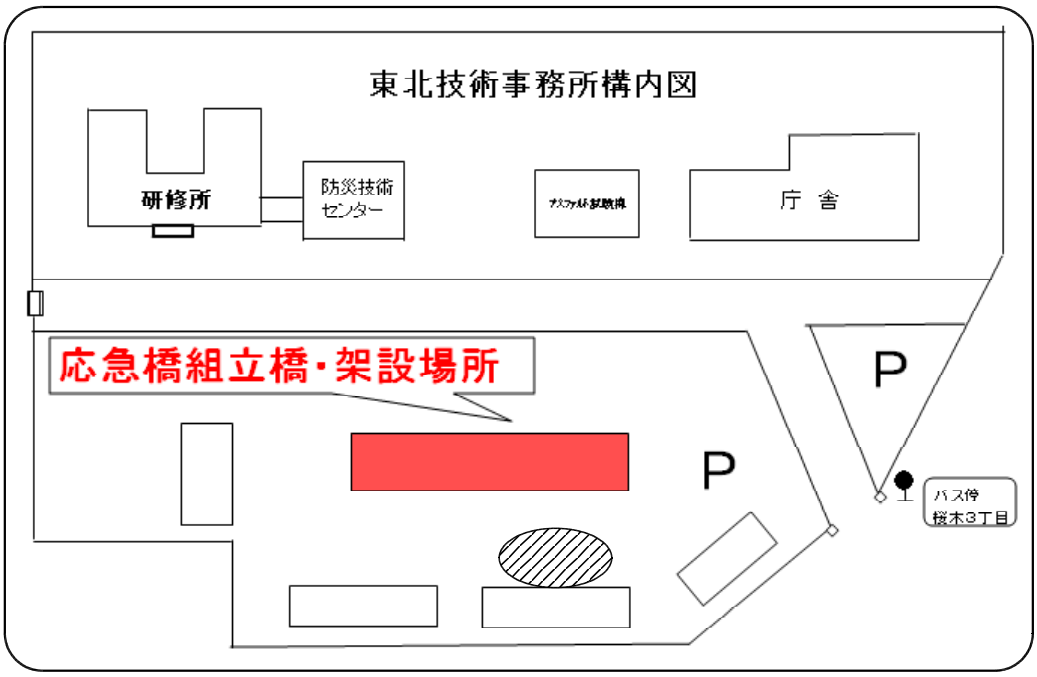
別紙－３

交通アクセス

・ＪＲ仙石線の多賀城駅から徒歩２０分、車で１０分

・バスは宮城交通七ヶ浜方面乗車、桜木三丁目下車徒歩３分。





構内集合場所